

井川町教育委員会 7 月定例会会議録

1. 日 時 令和 5 年 7 月 2 4 日 (月) 午後 1 時 3 0 分～午後 2 時 5 0 分

2. 場 所 井川町農村環境改善センター

3. 出席委員

教育長	六郷博志
委員	齋藤正仁
委員	小武海文恵
委員	遠藤勇人
委員	佐藤聡子

4. 会議に出席した事務局職員

事務局長	湊和樹
事務局次長	鷺谷幸平
事務局次長	村井幸子

5. 会議

(1) 議案

- ・議案第 1 9 号 井川町教育委員会職員の異動について
- ・議案第 2 0 号 井川町教育委員会公印取扱規則の一部を改正する規則について
- ・議案第 2 1 号 令和 6 年度小学校教科用図書採択について

(2) 報告事項

- ①台湾視察について
- ②中学校全県総体等の結果について
- ③7 月 1 4 日からの大雨災害による被害状況について
- ④授業改善の状況について
- ⑤令和 5 年度教職員初任者研修会の開催について
- ⑥その他教育委員会・公民館・学校関係行事について

(3) その他

6. 情報交換

7. 会議の経過

- 教育長 開会あいさつ
(挨拶要旨)
先週の水害について井川町では、床上浸水が3棟、床下浸水14棟、斜面の崩落、断水、農業被害などがあつた。秋田市・五城目町は大災害となり、特に五城目町の状況は東日本大震災と酷似していると感じ、児童生徒の今後の心配される。多くの中高生がボランティア活動しており、学校で継続されてきたボランティア教育の成果を感じた。
- 事務局長 今定例会の議事録署名員に遠藤委員、小武海委員を提案。
(全員提案を了承)
教育長に進行を求める。
- 教育長 協議事項に入る。議案第19号井川町教育委員会職員の異動について説明を求めた。
- 事務局長 議案第19号井川町教育委員会職員の異動について説明をした。
- 教育長 議案第19号について質問を求めた。
質問を求め、無い旨を確認し、承認とする。
- 教育長 議案第20号井川町教育委員会公印取扱規則の一部を改正する規則について説明を求めた。
- 事務局長 議案第20号井川町教育委員会公印取扱規則の一部を改正する規則について説明をした。
- 教育長 議案第19号について質問を求めた。
質問を求め、無い旨を確認し、承認とする。
- 教育長 議案第21号令和6年度小学校教科用図書採択について説明する。7月26日開催の最終委員会で原案がまとめ、各市町村の教育委員会に承認され、決定の運びとなる。本来であれば来週以降に臨時教育委員会を開催し審議するところであるが、7月28日～29日に予定されている視察研修中に説明すること、教育委員5名中3名が採択委員であること、原案ではどの教科も従前の教科書業者であることから、採択において事前承認を求めた。
質問を求め、無い旨を確認し、承認とする。
- 教育長 報告事項に入る。
③大雨災害による被害状況、①台湾視察について、映像も含め報告する。台湾視察には教員2名が同行し、安全面の不安が払拭さ

れたこと、異文化に興味が高まったことが大きな収穫であった。
8年生の授業参観において1回目の台湾授業が行われたようだ。
半年後、台湾への修学旅行実施を期待する。

- 委員 映像にあった夜市は何時ころか。
教育長 午後7時頃。午後10時でも夜市には子供が多く、夜遊びは普通の文化のようだが、修学旅行では夜市は難しいと感じた。
- 委員 電車に乗るときは切符を購入するのか？
教育長 「Suica」のようなものがあり便利である。
教育長 報告事項②中学校全県総体等の結果について報告を求めた。
事務局長 ②中学校全県総体等の結果について報告した。
教育長 質問を求め、無い旨を確認し、次に③7月14日からの大雨災害による被害状況について報告を求めた。
事務局長 7月14日からの大雨災害による被害状況について報告した。
被害の大きかった五城目へ、役場からボランティア作業に従事している。ゆうゆう・定住促進センターの風呂を無料開放、スポ少へ練習場使用の無料等の援助している。
- 教育長 水害について質問を求めた。
委員 街道地区の建物被害が多い、場所は何処か。
事務局長 例年は郵便局の手前辺り。今回は公民館影の林さん宅周辺、側溝・水路から水が上がったようだ。川の水面が上がって水が捌けないようであった。
- 教育長 断水は以前にもあったか。
事務局長 長時間の断水は無かった。
菘田の観測所の水位が1mで町民生活課主体の対策室、1.5mで対策部、それ以上で町長が長となつての対策部となるが、今回の水位は2.6mと想定以上であった。
- 教育長 質問を求め、無い旨を確認し、次に④授業改善の状況について報告をした。7月10日、6月27日の両授業についての資料は学校と共有しており、具体的な授業改善の提案、助言は行っているが、進展が見られない。次回8月の委員会では授業参観、校長との意見交換を予定しており、今回の提案・助言を受けて成果が見える授業を期待している。
- 委員 学校全体で目指す授業像の話し合いが出来ていればよいが、目指すモデルがはっきりしていないので、どうしたらよいかわからないように感じる。モデルとなるような学校視察をしてはどうか。
先生方から視察の希望は無いか。
- 教育長 4～5月に働きかけたときは無。8月30日に守谷市で英語の公

開授業があり小玉先生と私で視察に行くので報告する。視察の機会を増やすことが委員会側として出来ることと考えている。

委員 最低でも2名で視察に行くこと。お互いの意見に共感できる。

教育長 学校側に複数人の公開授業視察派遣を希望したが断られた。

委員 実際に見ることで具体的なイメージが湧くもので、本を読むだけでは自身の授業を構築するのは難しい。

教育長 7月28・29日に公設塾の視察を行う。公設塾の存在は学校にとって大きな刺激になる。塾の学習の進め方を伝えるなど様々な手法で刺激する必要がある。

また、これまでの委員会の授業参観は各授業を5分程度参観していたが、次回も1時間参観してはどうか。先生方が組み立てた授業を1時間参観し、意見を述べ、先生方も他の意見を聞く姿勢も持つ。これを繰り返し行う必要がある。

委員 授業は先生が組み立てて行うが、授業が成り立つには児童生徒と先生の両方の存在がある。

教育長 子供の立場に立つ意識は薄いと感じる。前回の授業参観では、子供たちの理解・熟慮が不足であったと感じる。次回の参観にも率直な意見をいただき協議につなげたい。昨年後半から授業改善を進めてきたので、子供の姿で成果を示してもらいたい、まだ見えないことに苛立ちを感じている。

教育長 ⑤令和5年度教職員初任者研修会について報告を求めた。

事務局長 ⑤令和5年度教職員初任者研修会について報告をした。

委員 初任者とは、新規採用が対象か。以前の対象は初めて赴任された人ではなかったか。

教育長 以前は、初めて赴任された方を対象に4月に町内巡りを行った。

事務局長 今は行っていない。

委員 家庭訪問は行っているか。

事務局長 行っていない。

委員 赴任した先生は地域を見る機会が少ない。

事務局長 昨年小玉先生に初任者研修会を行った。講師で長く在籍していたが、町内をめぐると初見の場所が多くあったようだ。

教育長 来年度、実施を検討する。

⑥その他教育委員会・公民館・学校関係行事について報告を求めた。

事務局長 ⑥その他教育委員会・公民館・学校関係行事について報告した。

教育長 質問を求め、無い旨を確認し、報告事項を終えた。

次に(3)その他において、文化財保護審議会あての諮問の案に

について説明する。以前に資料館を見ていただき、その際の意見を踏まえ、資料館のあり方について諮問する予定。

委員 展示を交換することがない。物・人もいない。洲崎遺跡の発掘品は全て県立博物館が所蔵している。お金をかけリニューアルしても、入館者増は難しい。

教育長 専門職員の問題もある。

委員 秋田県内に専門職員はどの程在職しているか。

教育長 市には在職しているが、町村にはほぼ不在。東成瀬村では、臨時職員として県を退職した職員を招聘しているようだ。専門職員の確保に、地域おこし協力隊のような募集方法も検討に上がった。現在、文化財保護委員は高齢化が進み、後継者もなく活動が停滞しているが、発案が出るのを期待している。

事務局長 質問を求め、無い旨を確認した。他に案件はないか求めた。7月28日～29日の視察研修について行程も含め説明した。

教育長 質問を求め、無い旨を確認した。他に委員からの発言を求めた。

委員 7月7日の「夕学の会」の参加した際、「読めない」生徒が多く驚いた。

委員 特に男子生徒に多く、参加者の間でも同様の感想が出ていた。

教育長 類推して読むことが出来なかった。

委員 どの教科であれ、文章が読めないと答えが出せないように、算数・数学が県平均より低いのは文章を読めないことに原因があるのではないか、と感じた。

教育長 読書量による常識の幅広さは狭いと感じた。

委員 校長や担任の先生はどう感じたのか。

教育長 以前より間違ふことを嫌がる、わからないと言えない子が増え、子供たちが委縮していると感じる。

委員 2～3年生で行っていた「音読カード」は実施されているか。

教育長 実施していない。音読の宿題も無いようだ。

委員 音読カードが無くなった影響もあると感じた。放課後こども教室でも文章題が出ると「無理だ」と手を付けない、問題文の意味が解らない子供が多く、問題に感じている。読解力はすべての教科に通ずる。

教育長 以前、読解力の無さ明らかにするため、6年生以上にリーディングスキルテストを行った。結果を学校に伝えたが活用はされず、その生徒へ学校からのサポートは無かった。

他に無い旨を確認し、定例会を終了する。

